

パソコンのメンテナンス (1)

パソコンは、使えば使うほど保存ファイルが増加します。全く意図しなくても、そうなります。一方、パソコンで扱うファイルの画像・音楽などは随分大きくなっています。当面、外付けHDDで対処しても、いずれ限界が来ます。

順不動ですが、チリが積もって山になる例えに従い、快適な動作を維持する処方を考えましょう。

1. 「C」ドライブの空き容量チェック

ハードディスクは、パソコンのデータ等を保存する場所ですが、一般にCドライブとDドライブに分割されています。

画像やその他のデータ類も、「マイドキュメント」とか「マイピクチャ」に保存されるよう、初期設定で指定されています。

これらの設定を変更しないまま、パソコンを使用していると、部屋の中に荷物が増えすぎて身動きができないような環境が、パソコンに発生します。

「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」→「Cドライブ」右クリック→「プロパティ」

右図 空領域が30%以下になると注意要

Cドライブには、**Windows** のシステムや、アプリケーションの実行ファイルも保存されている。また、プログラムが動作するとき作業用のファイルを一時的に保存するため、見た目を超えて空き容量は小さくなる。



2. ディスクのクリーンアップ

「ディスクのクリーンアップ」を実行する。削除できるファイルと、現在ディスクを占有しているディスクサイズが表示される。削除したい項目に、チェックをいれ「OK」ボタンを押す。

ディスクのクリーンアップで対象となる項目
ダウンロードされたプログラムファイル
削除してよい

Temporay Internet Files

インターネット回線が高速なら削除してよい

オフライン Web ページ

「このページをオフラインで使用する」と設定した「お気に入り」のデータ。削除してよい。

ごみ箱

誤って削除した場合に備えて保存している。皆さん、どうします？

一時ファイル

削除してよい

一時オンラインファイル

削除してよい



3. 「ごみ箱」の保管容量サイズ変更

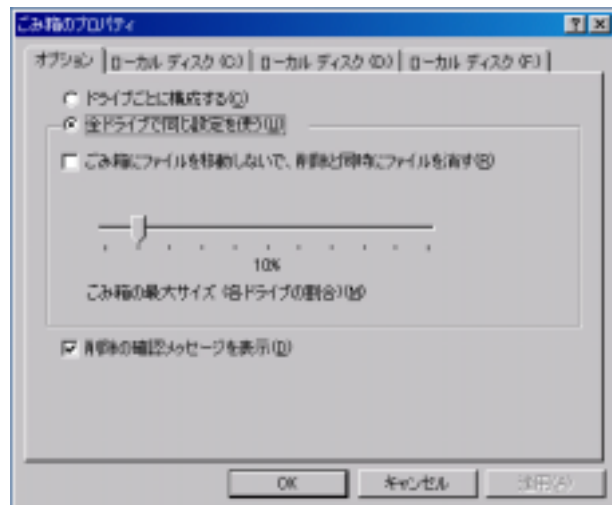
ごみ箱のデータ削除に自信がない場合、せめて容量の縮小は行いたい。

「ごみ箱」のサイズは、初期値で各ドライブの10%に設定されている。

「ごみ箱」右クリック→「プロパティ」→「オプション」タブ

「ドライブごとに構成する」を選択。

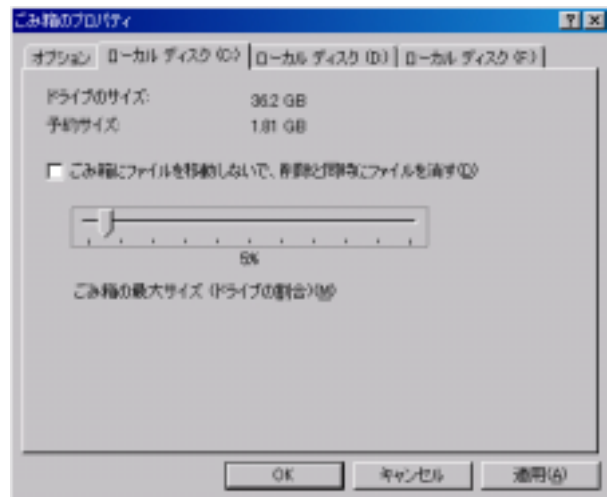
続けて「ローカルディスク (C)」タブを開く。



予約サイズの大きさ（数値）がCドライブのサイズの5%以下になるよう、スライダを動かして設定する。

必要な場合、「ローカルディスク (D)」も同様の操作を行う。

「適用」ボタンを押し、OKで終了する。



4. 「マイドキュメント」を「D」ドライブに移動する。

デジタルカメラの付属ソフトをインストールすると、画像の保存では自動的に「Cドライブ」の「マイドキュメント」にある「マイピクチャ」に保存しようとする。

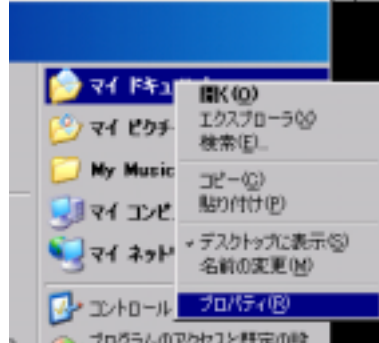
そのため、「Dドライブ」に専用フォルダを設定し、カメラやディスクから手動で保存の作業を行っている。

「マイドキュメント」が「D」ドライブにあれば、面倒な作業も省略されCドライブの負担も軽減される。

1) 「Dドライブ」に「マイドキュメント」という名前のフォルダを作る。

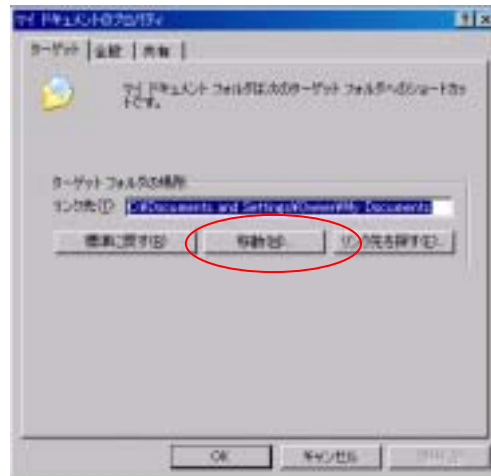
「マイコンピュータ」→「Dドライブ」Wクリック→「開かれた画面の何も無い場所」右クリック→「新規作成」→「フォルダ」→「新しいフォルダ」に「マイドキュメント」と入力。
Dドライブの画面を閉じる。

2) 「スタート」ボタン→「マイドキュメント」右クリック→「プロパティ」

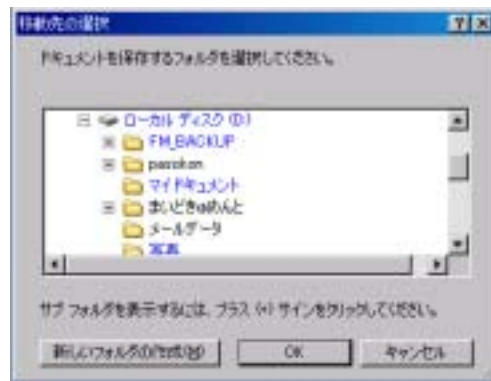


3) 「ターゲット」タブで「移動」をクリック。

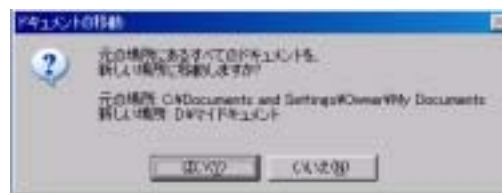
4) 移動先の選択画面が表示される。



5) 「マイコンピュータ」→「Dドライブ」をたどり作成した「マイドキュメント」を選択。
OKボタンを押す。
「マイドキュメントのプロパティ」に戻る。
OKボタンを押す。



6) 「ドキュメントの移動」画面が表示される。
「はい」を選択。
「Cドライブのマイドキュメント」のデータが「Dドライブのマイドキュメント」に移動する。
以降の、「マイドキュメント」に保存されるデータは、「Dドライブ」になる。



5. 使用頻度の低いアプリケーション

「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を開く。
コンピュータにインストールされているアプリケーションが表示される。
プログラムの名前・サイズはそのプログラムが占有している容量・使用頻度は起動の頻度
最終使用日は、前回使用した日付。

削除する目安にして、不要なプログラムは「変更と削除」を実行しましょう。

